

**有害プランクトン情報** (令和2年度 - No. 6)千葉県水産総合研究センター  
東京湾漁業研究所・生産技術研究室  
千葉県農林水産技術会議

水産総合研究センターは東京湾でプランクトン調査を行っています。プランクトンの種類や密度によっては、魚類や二枚貝などに影響を与えるので、毎月1回有害プランクトンの出現状況をお知らせします。

- 調査日 沖合 9月 第1回 内湾 (8地点) 9/8 内房 (7地点) 9/9  
9月 第2回 内湾 (8地点) 9/28

**東京湾(内湾)****【有害プランクトンの出現状況】**

- 9/8に羽田沖でカレニア ミキモトイがみられましたが (0.05 細胞/ml)、9/28の調査ではみられませんでした。千葉県環境研究センターから10月2日に市川・幕張沖～内湾中央部でカレニア ミキモトイが (10 細胞/ml) がみられたとの情報もありますので、今後の動向に注意が必要です。
- シャットネラ属, シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属は確認されませんでした。
  - ※ 赤潮 (透明度 1.5 m 以下, pH 8.5 以上, 酸素飽和度 150 %以上) は確認されませんでした。
  - ※ シャットネラ属は1 細胞/mL, シュードシャットネラ属は100 細胞/mL, ヘテロシグマ属は1,000 細胞/mL, カレニア属は100 細胞/mL 以上で注意報を発出します。

**【貝毒原因プランクトンの出現状況】**

- 1 麻痺性貝毒原因プランクトン
  - 確認されませんでした。
- 2 下痢性貝毒原因プランクトン
  - ディノフィシス アキュミナータは9/8に富津沖～アクアライン北部および羽田沖の地点でみられました (最高密度は富津沖の0.15 細胞/mL)。また、9/28には千葉沖および羽田沖の地点でみられ、密度はそれぞれ1.1 細胞/mL、0.1 細胞/mLでした。
  - その他のディノフィシス属は9/8, 9/28ともに確認されませんでした。
  - 貝毒の被害情報はいずれの日もありませんでした。

(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

**東京湾(内房)****【有害プランクトンの出現状況】**

- シャットネラ属, シュードシャットネラ属, ヘテロシグマ属, カレニア属は確認されませんでした。
  - ※ 赤潮 (透明度 1.5 m 以下, pH 8.5 以上, 酸素飽和度 150 %以上) は確認されませんでした。

**【貝毒原因プランクトンの出現状況】**

- 1 麻痺性貝毒原因プランクトン
  - 確認されませんでした。
- 2 下痢性貝毒原因プランクトン
  - ディノフィシス アキュミナータは9/9に大貫沖でみられ、密度は0.05 細胞/mLでした。
  - その他のディノフィシス属は確認されませんでした。
  - 貝毒の被害情報はいずれの日もありませんでした。

(貝毒情報は千葉県農林水産部水産局漁業資源課のホームページに掲載)

○ 各海域で見られたフランクtonの優占種

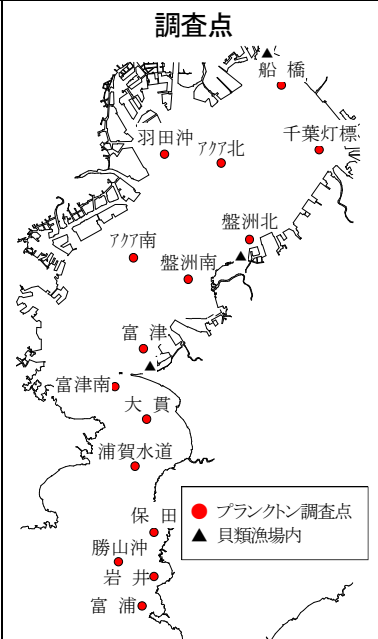
9/8,9	内湾・内房	珪藻	キートセロス, シュードニッチア属
9/28	内湾	珪藻	キートセロス属、シュードニッチア属、スケルトネマ属



カレニア ミキモトイ  
(9/8 羽田)



カレニア ミキモトイ  
(9/8 羽田 左の画像と同一個体)



連絡先 : 千葉県水産総合研究センター 東京湾漁業研究所  
〒293-0042 富津市小久保 3091 TEL 0439-65-3071 E-mail futtsu-sokuho@pref.chiba.lg.jp